

トップ
コミットメントサステナビリティ
推進体制JFRの
マテリアリティ低炭素社会への
貢献サプライチェーン
全体のマネジメント地域社会との
共生ダイバーシティ
の推進ワーク・ライフ・
バランスの実現事業会社の
ESGの取り組み社外取締役
メッセージ

ガバナンス

データ集

トップメッセージ 外部有識者メッセージ → ESG担当役員メッセージ JFRの事業戦略 JFRの理念体系 サステナビリティに関する方針



サステナビリティレポート2019発行によせて

J.フロント リテイリング株式会社 執行役常務 経営戦略統括部長 兼 リスク管理担当 澤田 太郎

トの実施結果などをもとに、経営会議や取締役会で議論を重ね、当社として取り組むべき5つのマテリアリティ(重要課題)を以下のとおり特定しました。

- 低炭素社会への貢献
- サプライチェーン全体のマネジメント
- 地域社会との共生
- ダイバーシティの推進
- ワーク・ライフ・バランスの実現

それぞれのマテリアリティに対して、2050年に達成すべき目標を定めるとともに、そのロードマップとして2030年の中長期目標を設定しました。さらに、この中長期目標を単年度およびグループ各社にドリルダウンし、PDCAサイクルをまわす体制と仕組みづくりが重要であると認識し、2019年は「低炭素社会への貢献」に重点を置いて取り組みました。まず、グループ全体の温室効果ガス排出量の具体的な削減数値目標の妥当性について「SBTイニシアチブ」の認定を取得し、科学的根拠の裏づけをとりました。また、排出量の算定方法や適切性について、ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッドによる独立

保証声明書を取得し、グループ各社の取り組みに応じた排出量を算出することが可能になりました。その結果、妥当性のある目標設定から結果検証までのPDCAサイクルを、年度ごとにまわすことが可能となりました。

その他のマテリアリティにつきましても、お客様との接点を多く持つ当社グループの事業特性を最大限にいかしたJ.フロント リテイリングらしいアプローチを意識しながら、2018年度よりグループ一体となった取り組みをスタートさせています。

これからも、当社グループはこの5つのマテリアリティに真摯に向き合い、地球の未来や社会に貢献する企業グループを目指して活動するとともに、その進捗状況を誠実に開示して参りたいと思います。

最後になりますが、当レポートではサステナビリティについての当社の考え方や推進体制に加えて、これら5つのマテリアリティに対する2018年度から一部2019年度の取り組みについてレポートしています。ご不明な点やご質問等がございましたら、本レポートははじめに記載しておりますアドレスまでメール等でお問い合わせいただければ幸いです。

この度、ステークホルダーの皆様へ、JFRグループへのご理解をさらに深めていただけるよう「サステナビリティレポート2019」をリリースする運びとなりました。

当社は2018年に「サステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき環境課題に向けては「エコビジョン」を、社会課題に向けては「ソーシャルビジョン」を新たに定めました。同時に、ガバナンスに対しては2015年に策定した「コーポレートガバナンス方針書」も更新しました。

また、これらの方針やビジョン実現に向けた取り組み課題を抽出すべく、4,250名のステークホルダーへのアンケート